

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		教育振興事業（中学校）						予算事業名		教育振興事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
				10	03	02	1101	経常経費					
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文						事業の区分		主要事業			
		4-1生きる力を育む教育環境づくり（学校教育）								重点事業			
		①教育内容の充実						担当課係等		学校教育課			
その他						学務係							
事業期間		継続（昭和29年度～令和 3年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
確かな学力の育成・豊かな心の育成・健康と体力の向上を目指し、児童生徒の「生きる力」を育み、将来の社会活動における一翼を担う人材の育成をする。													
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
・学力向上のための教材整備 ・数学教科の習熟度向上を図るため、夏季休業中に学びの広場を実施（県委託金） ・読書活動推進のための図書整備 ・コンピュータ教室用機器更新事業 H29 結城中学校 H30 結城東中学校、結城南中学校 ・教科書採択に伴う指導書購入 R01 道徳の教科化による指導書購入 R02 4年に1度の採択替え R03 10年に1度の学習指導要領改訂による採択替え							生徒及び教職員						
							【事業をとりまく環境の変化】 数学教科の学力低下が問題視され、世界で活躍できる人材育成と技術力の維持のため、国において積極的な推進策が図られたことから、本市としても対応が必要であり、数学教科については児童生徒の習熟度に差が出やすいことから、補習・アシスタント学習事業を実施する。						
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】					
中学校生徒の学力向上及び体力向上に資するための経費 教科書採択に伴う指導書購入のための経費				中学校生徒の学力向上及び体力向上に資するための経費				中学校生徒の学力向上及び体力向上に資するための経費					
■事業費													
				R01年度		R02年度							
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金			0		0							
	県 支 出 金			213		263							
	地 方 債			0		0							
	そ の 他			0		0							
	一 般 財 源			13,065		17,645							
歳 入 計（千 円）				13,278		17,908							
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）							
	07 報償費			442		617							
	10 需用費			677		3,349							
	11 役務費			12		12							
	13 使用料及び賃借料			9,189		10,690							
	17 備品購入費			2,958		3,240							
歳 出 計（千 円）（A）				13,278		17,908							
伸 び 率（％）						34.86							
備 考	総合計画112ページ 予算書172ページ												

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	学びの広場実施日数	日	目標	3.00	3.00	3.00
			実績	3.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	
	手段の妥当性	A 妥当である	
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	A 順調である	
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
理科支援員、学びの広場（H30年度は猛暑のため見送り）を実施し、一定の成果を得ている。 コンピュータ教室のパソコンについて、更新に当たり、普通教室での使用も視野に入れてタブレットを導入した。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
今後も補助金制度を積極的に活用し、授業の活性化・遠隔授業等の環境を整備する。 コンピュータ教室の環境整備により、ICT教育の充実を図っていきたい。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	